

環境教育講座

整理番号:20251203

イベント名	循環型社会の実現に向けた環境行動
-------	------------------

実施内容	
活動日時	2025年12月3日(水)9:30~11:30
活動場所	浜松市西部清掃工場 啓発施設「えこはま」
活動者名	高根美保
詳細	①ごみってなに? 廃棄物処理法について ②浜松市の家庭ごみ減量について ③SDGs 2025国際連合広報センターの進捗報告 ④市民協働による「ごみ減量」事業紹介(紙容器リサイクル事業) ⑤各事業による環境配慮行動の紹介 ⑥雑がみ啓発活動について

事業の様子 と成果	参加者:静岡県立浜松西高等学校中等部1年生 3名 配布物:紙容器リサイクル事業(チラシ・紙袋・メモ帳)、ごみ減量冊子、雑がみPP テーマ:浜松の自然と環境をずっと守り続けていくためには? 調べている内容:浜松市と朝霧(野外活動で行きました)の自然への取り組みの違い 質問:Q1 他のごみが混入した際の処理について Q2 自然を守る対策 Q3 今後、自分たちが自然を守るためにできること Q4 職業を始める動機 Q5 やりがい Q6 苦労した点
	<参加者の声> ・ごみという言葉に対する考え方や地球環境を守るために出来る事など、今までに知らなかつたことが分かりました。 ・清掃工場は、ごみ処理だけを行う施設だと思っていたが違っていた。 ・日ごろから3Rを意識し正しい分別方法ができるようにして行きたいです。 ・ごみは、法律でルールが決められていることが分かった。 ・日本のごみ歴史がとても古いことが分かった。 ・生ごみを微生物を用いて分解する方法を初めて知った。
	<成果> ・”ごみ”とは、何かを考え自分たちにどのようなことが関係するのか考える時間となった。 ・全てのものには「ごみになる時間」があることを考える時間となり、今後の生活の中で実践行動を行いたいとの意識変化があった。 ・浜松市が目指す家庭ごみ減量について内容を理解してくれた。



記録添付

